

ス イーツ  
＜3月12日は「スイーツの日」＞

## スーパー・コンビニ スイーツ白書 2022

～経年調査では、今年も「シュークリーム」がスイーツ人気 1 位！15 年連続記録更新～  
都道府県別スーパー・コンビニスイーツの好みを徹底調査

スイーツ好き 1 位は「愛媛県」／おやつ回数の多い「奈良県」

スイーツ選びに、贅沢感を大切にする「高知県」／定番の味を愛する「福井県」など

スイーツの好みや選び方などからも県民性や地域性が見える！？

洋生菓子を製造・販売する株式会社モンテール(本社：埼玉県八潮市)は、2007 年より毎年行っている「スーパー・コンビニエンスストア(以下コンビニ)の洋生菓子(以下スイーツ)」に関する経年変化をまとめた調査に加え、今年度は「47 都道府県別のスイーツ事情」について調査・分析し、「スイーツ」に関する意識や嗜好(しこう)などをまとめた「スーパー・コンビニ スイーツ白書 2022」を作成しました。3月12日の「スイーツの日」に合わせて、以下に主な調査結果を発表します。

### 経年比較 調査結果

- ▶ 「シュークリーム」が 15 年連続で  
人気スイーツランキング 1 位を獲得
- ▶ 「味・おいしさ」への評価が高まるスーパーのスイーツ
- ▶ 男性は「ふわふわ」、女性は「とろーり」食感が人気上昇中

Q. あなたが普段よく買う「スーパー・コンビニの洋生菓子」は何ですか？(複数選択)

1 位

シュークリーム

(70.2%)



2 位 プリン

(49.1%)



3 位 エクレア

(39.8%)



4 位 ロールケーキ 39.6%

5 位 その他ケーキ類 20.3%

### 都道府県別 調査結果

- ▶ 「スーパー・コンビニのスイーツ好き」が最も多いのは、「愛媛県」
- ▶ 「甘さしっかり派」1 位は「静岡県」
- ▶ 1 日の「おやつ回数」1 位は「奈良県」
- ▶ 「バニラ」好きな「長崎県」、「桃」や「マンゴー」などフルーティーなフレーバーが人気な「京都府」、「紅茶」の人気が高い「長野県」など、地域別にフレーバーの好みが見事に
- ▶ スイーツ選びで、贅沢感を大切にする「高知県」／定番の味を愛する「福井県」／地元愛の高い「宮崎県」「沖縄県」

スイーツやフレーバーの好み、  
スイーツ選びで重視する点  
などから地域性や違いが  
明らかに！



＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

株式会社モンテールバリュー 広報チーム

報道関係の皆様 TEL：048-994-2300 FAX：048-994-3700 E-mail：pr@monteur.co.jp

## スーパー・コンビニエンスストアの洋生菓子(スイーツ)に関する調査・調査概要

- 実施時期：2007年から2021年まで毎年実施
- 調査手法：インターネット調査
- 調査対象：16～64歳の男女約1,000人

※ スコアの構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

※ 各年の結果については、居住エリアおよび性年代の人口構成比に合わせてウエイトバック集計をしています。レポート内で表示しているサンプル数はウエイトバック後のものとなります。

※ 本文中で、説明がないものは2021年のデータです。

## 47 都道府県別のスイーツ事情に関する調査

- 実施時期：2022年1月17日(月)～19日(水)
- 調査手法：インターネット調査
- 調査対象：47都道府県より約200人ずつ、合計9,391人 3カ月に1回以上スーパー・コンビニスイーツを購入する人

※ スコアの構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%にならない場合があります。

# 「スーパー・コンビニ スイーツ白書 2022」概要

## 01： スイーツを買う場所・理由 (P.3～)

- **1位「スーパー」60.4%**(昨年 67.5%)、**2位「コンビニ」53.3%**(同 58.4%)、**3位「専門店」21.0%**(同 20.8%)  
スイーツを購入する場所は、8年連続「スーパー」がトップ
- スーパーは「価格と味」が、コンビニは「おいしさと手軽さ」が高評価  
スーパーのスイーツに対する「味・おいしさ」は評価が上昇。2013年以降で最も評価されている
- 約7割が「月1回以上」、約4人に1人は「週1回以上」スーパー・コンビニのスイーツを購入
- スーパー・コンビニでスイーツに使う金額は**平均 208円**で、過去最高値に。初めて女性の使用金額が男性を上回り上昇傾向

## 02： スーパー・コンビニスイーツ 人気ランキング (P.6～)

- よく買うスイーツランキング **1位「シュークリーム」**(70.2%)、**2位「プリン」**(49.1%)、**3位「エクレア」**(39.8%)  
「シュークリーム」と「プリン」は**15年間**、不動の1位と2位
- 人気のスイーツの「食感」は、「**なめらかな**」(**39.5%**)が**7年連続の1位**。2位「ふわふわ」(33.6%)、3位「ふんわり」(32.8%)。男性は「ふわふわ」、女性は「とろーり」が**人気上昇中**

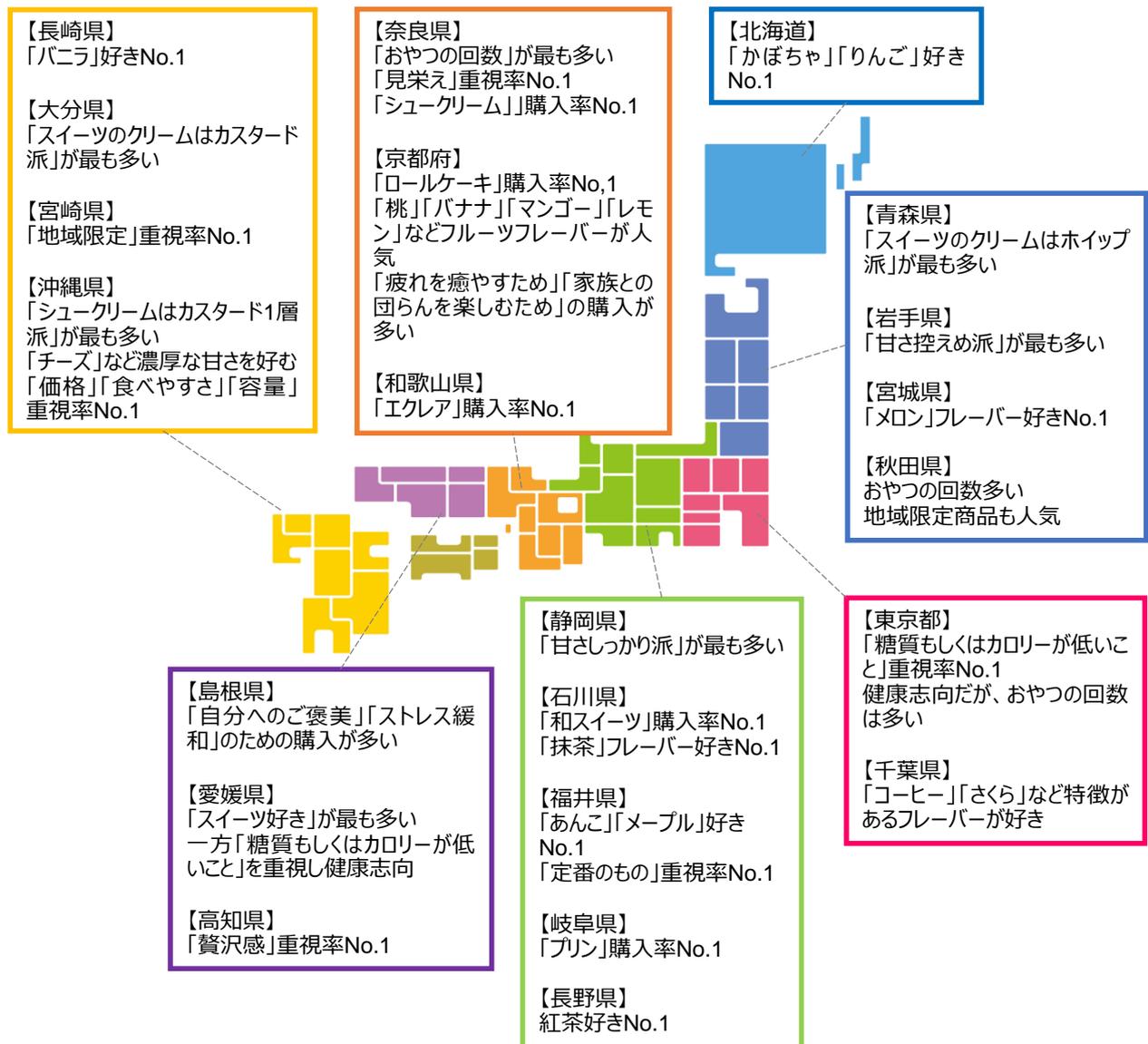
## 03： スーパー・コンビニでスイーツを買う・食べるシーン (P.8)

- ほとんどの人がスイーツを「**自宅**」(**97.0%**)で食べている。「**職場**」(**11.5%**)は昨年に続き減少傾向
- スイーツを食べる時間帯で最も多いのは「**午後**」(**49.6%**)。次いで「**夜**」(**39.3%**)、「**夕食時**」(**22.8%**)  
**男性は「夜」(48.0%)、女性は「午後」(55.2%)・「昼食時」(23.9%)に食べる割合が高い**

## 04 : 47 都道府県調査結果 (P.9~)

- 「スーパー・コンビニのスイーツ好き」が最も多いのは「愛媛県」(99.5%)
- 1日のうちにおやつを食べる回数が多い都道府県は「奈良県」(1.44回)がトップ
- よく買うスイーツの種類では、全ての都道府県で「シュークリーム」がトップに
- 「甘さっぱり派」と「甘さ控えめ派」では、「甘さっぱり派」が約6割で多数派  
「甘さっぱり派」No.1は「静岡県」(64.5%)。「甘さ控えめ派」No.1は「岩手県」(49.5%)  
**近畿は「甘さっぱり派」、北海道・東北は「甘さ控えめ派」が多い**
- 「シュークリーム」はホイップクリームとカスタードクリームの「2層派」(67.0%)が多数派
- 「ホイップクリーム」「カスタードクリーム」の人気は拮抗(きっこう)  
**ホイップ派が多い「中部」「東北」カスタード派が多い「九州・沖縄」「中国・四国」**
- **フレーバーに見る地域性**：濃厚な「チーズ」好きが特に多い「沖縄県」。フルーティーな味わいを好む「京都府」。「紅茶」好きは「長野県」で多く、「抹茶」好きは、「和スイーツ好き」で1位となった「石川県」
- **スイーツ選びに見る地域性**：贅沢感を大切にする「高知県」。定番の味を愛する「福井県」。季節感を大事にする「京都府」。健康志向の「東京都」
- **スイーツを食べる理由に見る地域性**：「ご褒美として」「ストレス緩和のため」に食べる人が多い「島根県」。「疲れを癒やすため」「家族との団らんを楽しむため」に食べる人が多い「京都府」

### スイーツでみる各地の地域差



# 01 スイーツを買う場所・理由

- ❖ スイーツを購入する場所は、8年連続「スーパー」がトップ！
- ❖ 女性の方が「スーパー」でのスイーツ購入率が高く、40代女性は7割以上が選択

スイーツ(洋生菓子)を購入する場所は1位「スーパー」(60.4%、昨年67.5%)、2位「コンビニエンスストア」(53.3%、昨年58.4%)をはじめ、トップ5は昨年同様の順位となり、「スーパー」は8年連続1位という結果になりました。例年同様、スイーツの購入には身近なスーパーやコンビニを選ぶ人が多いことが分かる一方、昨年より「スーパー」は7.1ポイント、「コンビニ」は5.1ポイント購入率が減少しました。代わりに2014年には4.2%であった「ドラッグストア」が今年度は10.7%と過去最高の数値となりました。ドラッグストアでも食料品などの取り扱いが多くなり、スイーツも購入できるようになっていることの影響も考えられます[図1]。

本項目の調査を開始した2014年からの推移では、「スーパー」での購入率は、8年間で最も少ない割合となりましたが、男性(53.7%)、女性(67.1%)ともに最も多くの方がスイーツの購入に「スーパー」を選んでいました。[図2]。

「スーパー」で購入しているのはどの年代でも女性の方が多く、特に40代女性(72.7%)の支持が高いことが分かりました[図3]。

【図1】 スイーツを購入する場所 トップ5

1位	スーパー	60.4%
2位	コンビニエンスストア	53.3%
3位	専門店	21.0%
4位	百貨店	12.2%
5位	ドラッグストア	10.7%

【図2】 スーパーでのスイーツ購入率 男女経年変化



【図3】 スーパーでのスイーツ購入率 性年代別

	男性		女性	女性	
	購入率 (%)	人数 (n)		購入率 (%)	人数 (n)
10代	48.9%	35	67.8%	33	
20代	63.2%	92	65.8%	89	
30代	49.4%	106	62.4%	103	
40代	54.7%	137	72.7%	134	
50代	52.6%	123	65.5%	123	
60代	48.8%	54	68.1%	56	

- ❖ スーパーは「価格と味」が、コンビニは「おいしさと手軽さ」が高評価！

「スーパー」のスイーツの魅力は、1位「価格」(78.7%)、2位「味・おいしさ」(63.8%)で、スーパーのスイーツの「低価格でおいしい」ところが評価されているようです。また、スーパーならではの魅力といえる「品揃えの良さ」(22.5%)も5人に1人が評価しています[図4]。

「コンビニ」のスイーツの魅力は、1位「味・おいしさ」(68.9%)、2位「手軽に買える」(50.4%)で、「おいしいスイーツが手軽に買える」ことが高評価でした。4位は「新商品が頻繁に出る」(26.5%)で、新商品のサイクルの早さに魅力を感じている人も多いことが分かりました[図5]。

【図4】 「スーパー」のスイーツの魅力

1位	価格	78.7%
2位	味・おいしさ	63.8%
3位	手軽に買える	49.4%
4位	ボリューム	30.0%
5位	品揃えの良さ	22.5%

【図5】 「コンビニ」のスイーツの魅力

1位	味・おいしさ	68.9%
2位	手軽に買える	50.4%
3位	価格	42.6%
4位	新商品が頻繁に出る	26.5%
5位	ボリューム	16.6%

# 01 スイーツを買う場所・理由

◇ 「味・おいしさ」の進化が続く、「スーパー」「コンビニ」のスイーツ！

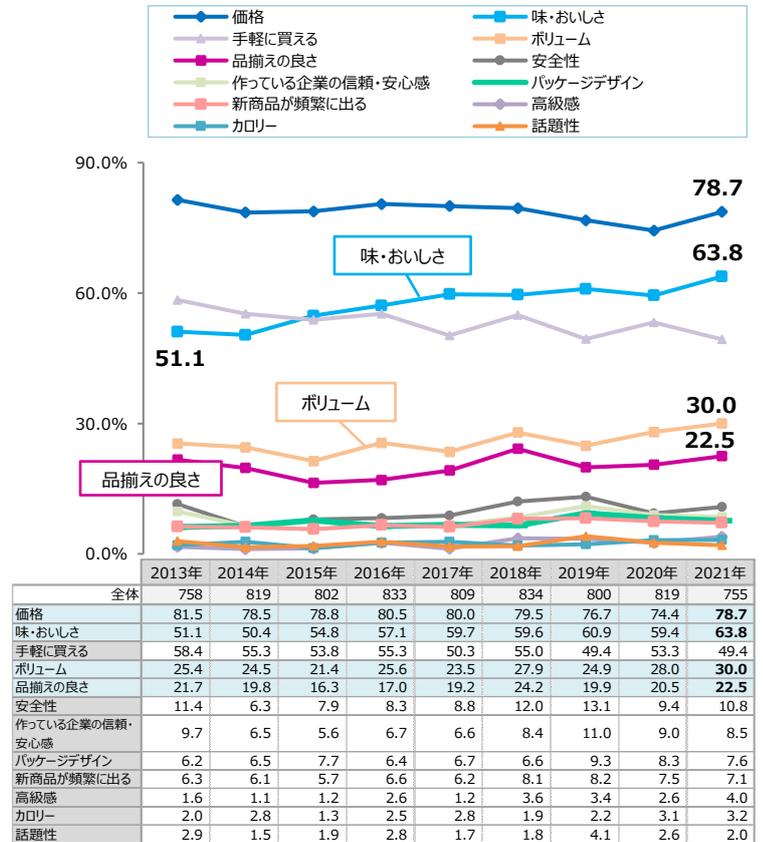
◇ 「スーパー」では「味・おいしさ」と「ボリューム」が過去最高値、「品揃えの良さ」も高評価

2013年から調査を開始した「スーパーとコンビニのスイーツの魅力」については、「スーパー」「コンビニ」の両者に共通してこの9年間で「味・おいしさ」への評価が高水準で推移していることが分かります。特に「スーパー」では、「味・おいしさ」への評価が過去最高値の63.8%を記録し、「スーパー」のスイーツのおいしさの進化を感じられる結果となりました [図 6、7]。

「スーパー」のスイーツの魅力で9年連続の1位となった「価格」(78.7%)も昨年より4.3ポイント増加。2位の「味・おいしさ」は、2013年(51.1%)と比較すると12.7ポイント上昇しており、「スーパー」で購入するスイーツの「味・おいしさ」の評価とともに、コストパフォーマンスへの評価が高まっていることが分かります。

4位の「ボリューム」(30.0%)は昨年から2.0ポイント増加で、2013年以来の最高値を記録。5位の「品揃えの良さ」(22.5%)も昨年から2.0ポイント増加し、スーパーでは幅広い品揃えの中からスイーツを選べるという点、またボリュームのあるスイーツを購入することができるという点が評価されていることが分かります [図 6]。

【図 6】 「スーパー」のスイーツの魅力 経年変化

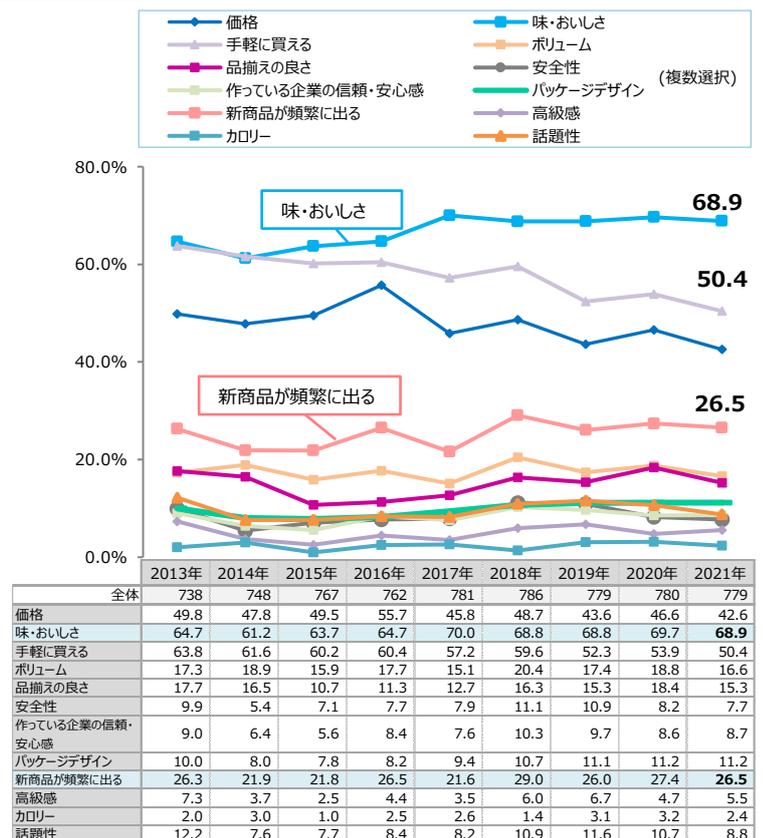


「コンビニ」のスイーツの魅力として、「味・おいしさ」(68.9%)を評価している人が約7割で、2015年以來7年連続で1位となり、高い水準で推移しています。

一方、「手軽に買える」(50.4%)は2位をキープしているものの、2013年と比べると13.4ポイント減少しています。長引くコロナ禍でスーパーが身近になったことや、ドラッグストアでもスイーツが購入できるようになっていることなど、手軽に購入できる場所が増えている影響がうかがえます。

また、4位となった「新商品が頻繁に出る」(26.5%)も2013年以來安定的に評価されており、コンビニでは新商品との出会いを頻繁に楽しめることも魅力に感じられていることが分かりました [図 7]。

【図 7】 「コンビニ」のスイーツの魅力 経年変化



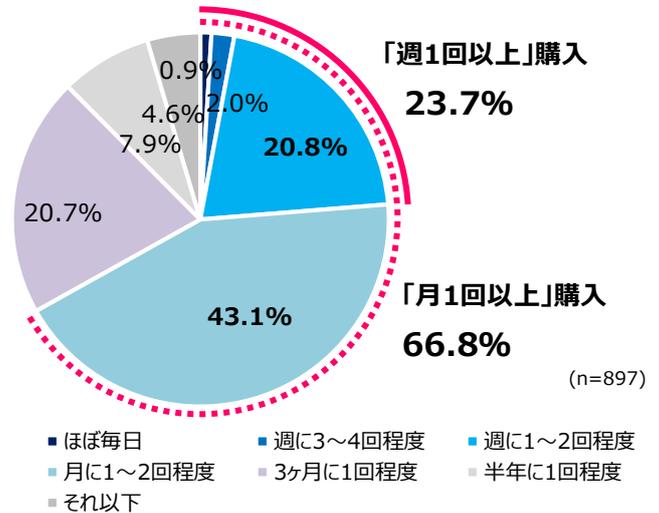
# 01 スイーツを買う場所・理由

## ❖ 約7割が「月1回以上」、約4人に1人は「週1回以上」スーパー・コンビニのスイーツを購入

スーパー・コンビニでスイーツを購入する頻度を聞いたところ、「週に1回以上」購入する人は全体で23.7%と、昨年度26.5%からは微減しましたが、引き続き約4人に1人の割合であることが分かりました。

「月に1回以上」購入している人は66.8%（「ほぼ毎日」「週に3～4回程度」「週に1～2回程度」「月に1～2回程度」合計）で、約7割となりました。昨年度の67.4%と比較すると、ほぼ横ばいの結果です[図8]。

【図8】 スーパー・コンビニのスイーツを購入する頻度



## ❖ スーパー・コンビニのスイーツに使う平均金額は208円で、過去最高値に！

## ❖ 女性の使用金額が上昇中！20代・30代女性と、60代男性がトップ3！

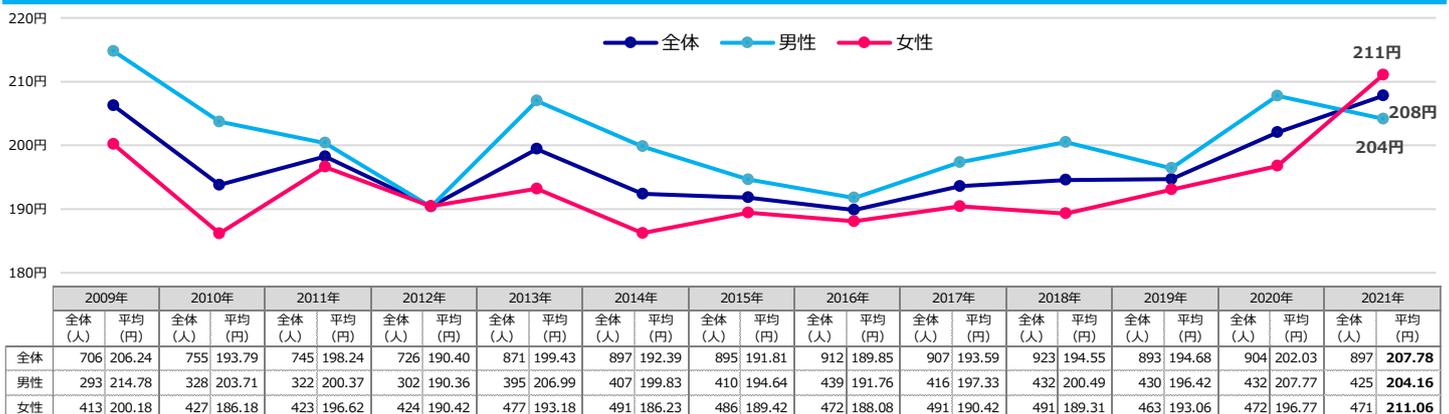
スーパー・コンビニで購入するスイーツに使う平均金額は、208円で昨年の202円から6円上昇し、本項目の調査を開始した2009年以来、最高値となりました。また、男性は204円、女性は211円で、初めて女性が使う平均金額が男性を上回る結果となりました(2012年は男女とも190円)。女性は2018年(189円)から年々スーパー・コンビニのスイーツに使う金額が増加しています[図9]。

性年代別に見ると、スーパー・コンビニのスイーツに使う平均金額が一番高いのは女性20代(244円)、次いで女性30代(234円)でした。一方、3位には男性60代(227円)がランクインしており、スーパー・コンビニのスイーツが幅広い層に支持されていることがうかがえる結果となりました[図10]。

【図10】 スーパー・コンビニのスイーツに使う平均金額（性年代別）

1位	女性20代	n=83	244円
2位	女性30代	n=91	234円
3位	男性60代	n=41	227円
4位	男性30代	n=86	218円
5位	女性10代	n=32	212円
6位	男性20代	n=74	205円
7位	男性10代	n=28	203円
8位	男性50代	n=90	201円
9位	女性40代	n=119	197円
10位	女性50代	n=101	190円
11位	女性60代	n=46	188円
12位	男性40代	n=106	187円

【図9】 スーパー・コンビニのスイーツに使う平均金額 経年変化



# 02 スーパー・コンビニスイーツ 人気ランキング

## ☆ 「シュークリーム」が 15 年連続で人気 No.1 を獲得！

スーパー・コンビニでよく購入するスイーツは、1 位「シュークリーム」(70.2%)が 15 年連続の首位を獲得しました。

2 位「プリン」(49.1%)も 15 年連続で 2 位となり、不動の人気を誇る 2 大スイーツであるといえそうです。男女別のランキングでもトップ 2 は同様に、全体 3 位「エクレア」(全体 39.8%、男性 42.5%、女性 37.3%)は、男性のランキングで 3 位、女性のランキングでは 4 位でした。代わりに女性人気の 3 位となったのは「ロールケーキ」(女性 39.0%)でした [図 11、12]。

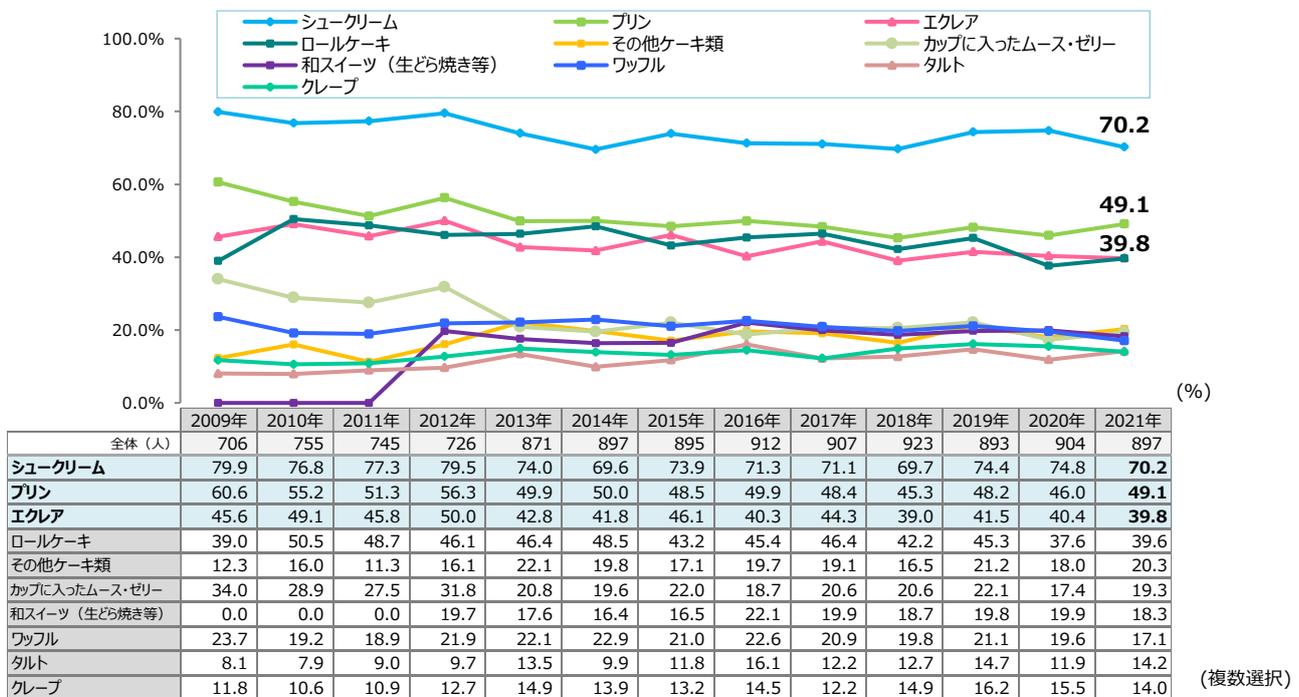
性年代別に見ると、「シュークリーム」が圧倒的な人気を見せる中、女性 10 代のみ「プリン」(64.1%)が 1 位を獲得しています。また、「シュークリーム」は特に男性 30 代(80.9%)・40 代(81.0%)から多くの支持を得ていることが分かりました[図 13]。

【図 11】 スーパー・コンビニでよく買うスイーツランキング(全体・性別)

全体		男性		女性	
1位	シュークリーム 70.2%	1位	シュークリーム 73.6%	1位	シュークリーム 67.2%
2位	プリン 49.1%	2位	プリン 48.3%	2位	プリン 49.9%
3位	エクレア 39.8%	3位	エクレア 42.5%	3位	ロールケーキ 39.0%
4位	ロールケーキ 39.6%	4位	ロールケーキ 40.3%	4位	エクレア 37.3%
5位	その他ケーキ類 20.3%	5位	その他ケーキ類 19.0%	5位	その他ケーキ類 21.4%
6位	カップに入ったムース・ゼリー 19.3%	6位	カップに入ったムース・ゼリー 17.9%	6位	和スイーツ(生どら焼き等) 21.2%
7位	和スイーツ(生どら焼き等) 18.3%	7位	クレープ 17.6%	7位	カップに入ったムース・ゼリー 20.6%
8位	ワッフル 17.1%	8位	ワッフル 16.0%	8位	ワッフル 18.1%
9位	タルト 14.2%	9位	和スイーツ(生どら焼き等) 15.1%	9位	タルト 17.1%
10位	クレープ 14.0%	10位	タルト 11.0%	10位	クレープ 10.8%

(複数選択、n=897) (複数選択、n=425) (複数選択 n=471)

【図 12】 スーパー・コンビニでよく買うスイーツランキング 経年変化



【図 13】 スーパー・コンビニでよく買うスイーツランキング(性年代別、トップ 3)

		10代(n=28)	20代(n=74)	30代(n=86)	40代(n=106)	50代(n=90)	60代(n=41)
男性	1位	シュークリーム 69.0%	シュークリーム 64.1%	シュークリーム 80.9%	シュークリーム 81.0%	シュークリーム 67.7%	シュークリーム 72.3%
	2位	プリン 48.6%	プリン 54.3%	プリン 47.0%	プリン 45.3%	エクレア 54.5%	エクレア 48.8%
	3位	エクレア 47.6%	ロールケーキ 30.0%	ロールケーキ 43.2%	エクレア 44.8%	ロールケーキ 52.2%	ロールケーキ 45.9%
		10代(n=32)	20代(n=83)	30代(n=91)	40代(n=119)	50代(n=101)	60代(n=46)
女性	1位	プリン 64.1%	シュークリーム 65.0%	シュークリーム 71.3%	シュークリーム 64.8%	シュークリーム 72.2%	シュークリーム 70.7%
	2位	シュークリーム 48.7%	プリン 55.7%	プリン 37.7%	プリン 51.5%	プリン 50.3%	プリン 48.9%
	3位	エクレア 37.7%	ロールケーキ 36.5%	ロールケーキ 35.5%	エクレア 42.5%	ロールケーキ 43.8%	ロールケーキ 45.1%

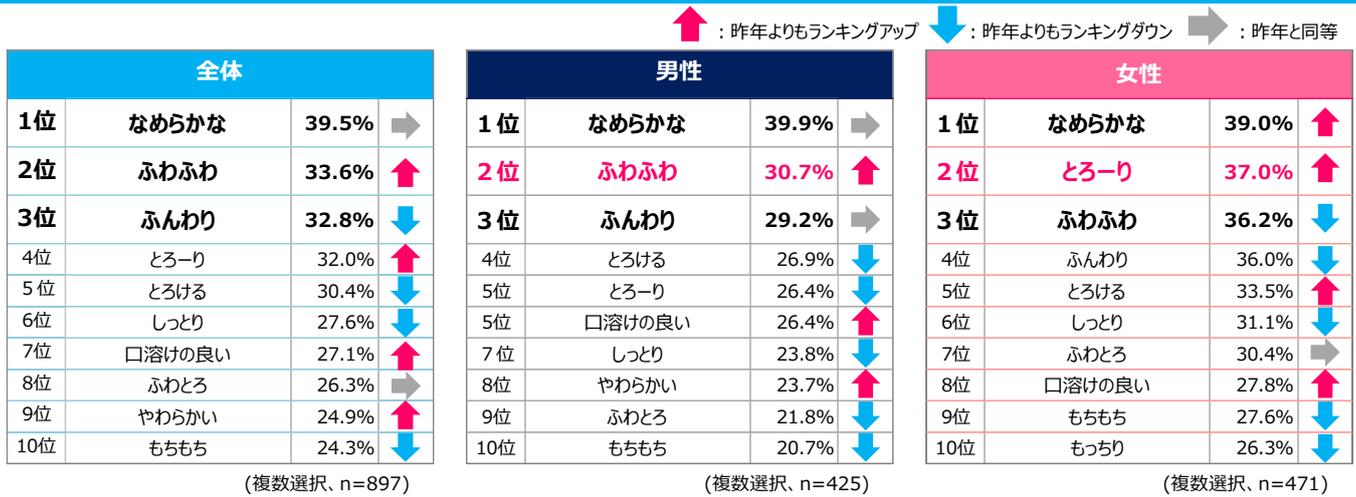
# 02 スーパー・コンビニスイーツ 人気ランキング

## ◇ 「なめらかな」食感が一番人気！ 男性は「ふわふわ」、女性は「とろーり」食感が人気急上昇！

魅力を感じるスイーツの食感では、「なめらかな」(39.5%)が2015年以來7年連続の1位となりました。

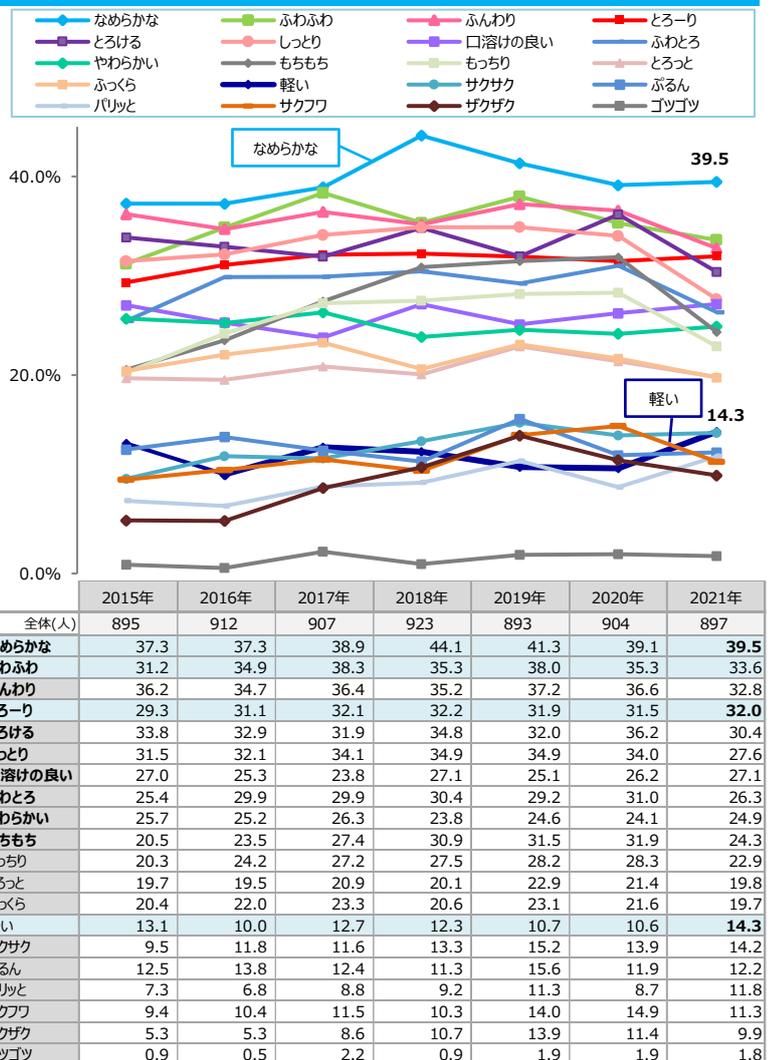
男性は2位「ふわふわ」(30.7%)が昨年(23.9%)から6.8ポイント増加し、8位からランクアップ。3位には「ふんわり」(29.2%)がランクインしており、「ふわふわ・ふんわり」食感が男性に注目されているようです。女性は2位「とろーり」(37.0%)が昨年(33.6%)から3.4ポイント増加し、9位からランクアップ。昨年1・2位の「ふわふわ・ふんわり」と代わって「なめらかな・とろーり」食感が女性に人気となりました。[図14、15]。

【図14】 魅力を感じるスーパー・コンビニのスイーツの食感 ランキング (全体・性別)



全体の経年変化では「なめらかな」(39.5%、昨年39.1%)、「とろーり」(32.0%、昨年31.5%)などのポイントが微増していますが、その他上位の食感は昨年よりそれぞれポイントが減少。一方、「軽い」(14.3%、昨年10.6%)「パリッと」(11.8%、昨年8.7%)などこれまで人気が高かった食感で3ポイント以上の上昇が見られました。さまざまな食感のスイーツが登場し、好みも多様化している様子がうかがえる結果となりました[図15]。

【図15】 魅力を感じるスーパー・コンビニのスイーツの食感 経年変化



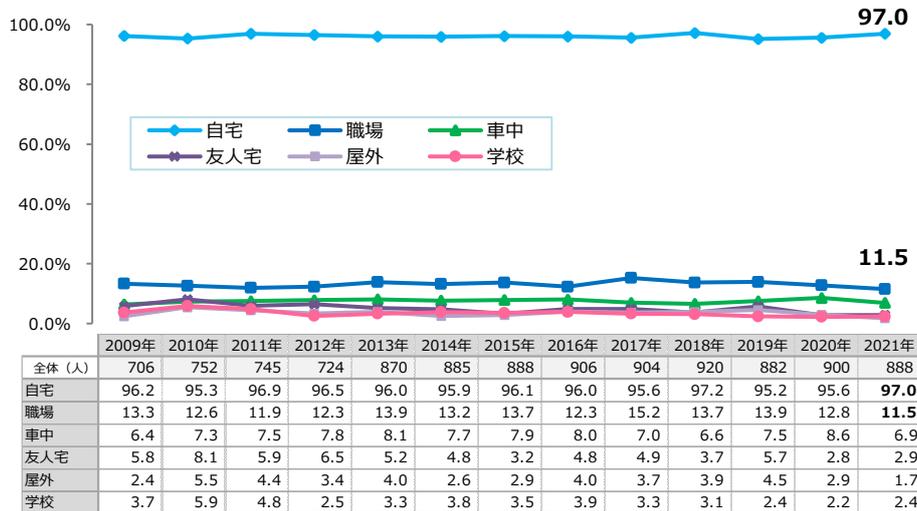
# 03 スーパー・コンビニスイーツを買う・食べるシーン

## ◆ 97.0%がスーパー・コンビニのスイーツを「自宅で食べる」

スーパー・コンビニのスイーツを食べる場所について、97.0%と全員に近い人が「自宅」と回答しました。2位の「職場」(11.5%)は昨年引き続き減少傾向で過去最低となり、コロナ禍の影響がうかがえます。

2009年以降、スーパー・コンビニのスイーツは、自宅で食べる人がほとんどであることが分かりました[図16]。

【図16】 スーパー・コンビニのスイーツを食べる場所



(複数選択)

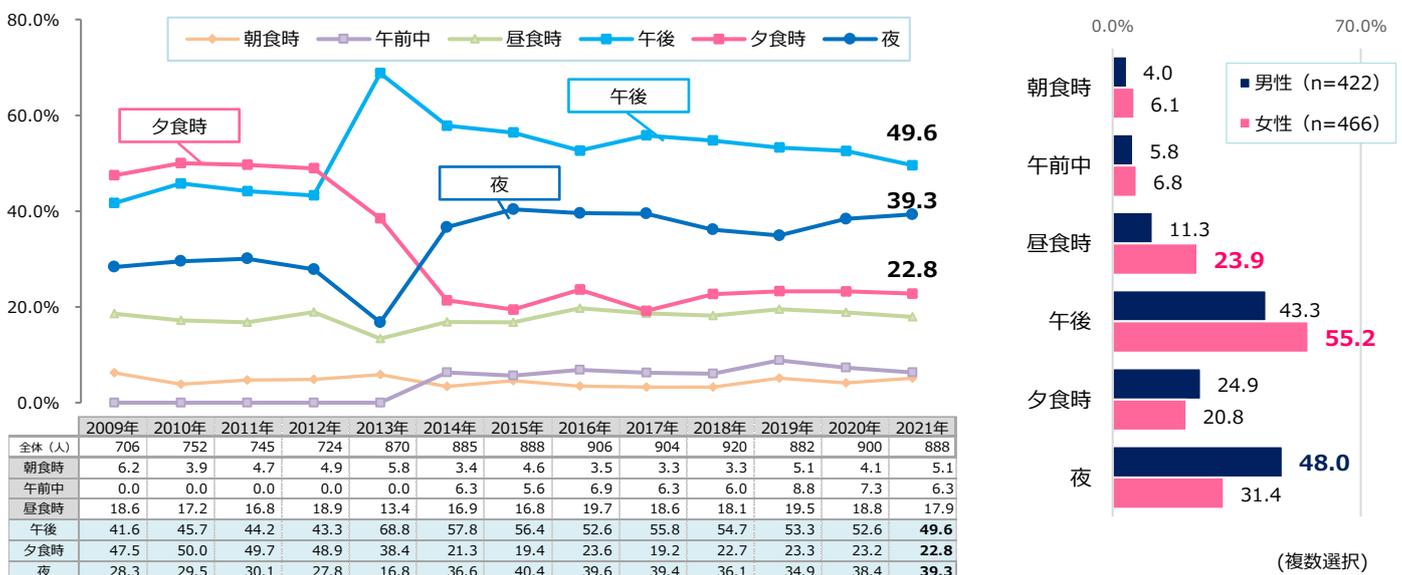
## ◆ 「午後」にスイーツを食べる人が約5割。男性は「夜」派、女性は「午後」派が多い

スーパー・コンビニのスイーツを食べる時間帯は「午後」(49.6%)が最も多く、次いで「夜」(39.3%)、「夕食時」(22.8%)でした。「夜」に食べる人の割合は昨年(38.4%)より上昇し、2019年以降割合を伸ばしています。

男性は「夜」にスイーツを食べる割合が高い(男性：48.0%、女性：31.4%、16.6ポイント差)一方、女性は「午後」にスイーツを食べる割合が高い(男性：43.3%、女性：55.2%、11.9ポイント差)ことが分かります。また、女性の約4人に1人が「夕食時」にスイーツを食べる(男性：11.3%、女性：23.9%、12.6ポイント差)ことが分かり、男女でスイーツを求める時間帯には違いがあるといえそうです。

[図17]。

【図17】 スーパー・コンビニのスイーツを食べる時間帯 経年変化・男女比較



(複数選択)

# 04 47 都道府県調査 ～スイーツ好きの都道府県～

ここからは、今年度新たに行った 47 都道府県調査の結果を紹介します。日本では気候や風土にも違いがあり、その土地ならではの多様な食文化があります。今回は日本の各地域でのスイーツの好みの違いを調査しました。スーパー・コンビニスイーツを 3 カ月に 1 回以上購入する人を各都道府県より約 200 人ずつ抽出し、合計 9,391 人を対象に調査を行いました。

## ◇ スーパー・コンビニの「スイーツ好き」が最も多いのは「愛媛県」！西日本はスイーツ好きが多い

スーパー・コンビニのスイーツが好きかという問いには、回答者全体でも 95.1% の人が「好き」と回答。その中でも、スーパー・コンビニのスイーツが好き\* な人の割合が最も多い都道府県の 1 位は「愛媛県」(99.5%) でした。

\*「とても好き」「好き」の合計

2 位は「広島県」(98.5%)、続いて「和歌山県」「香川県」「大分県」(97.5%) が同率で 3 位となり、トップ 5 には西日本の県が並ぶ結果となりました[図 18]。

また「とても好き」と回答した人の割合でもみると、「神奈川県」「沖縄県」が 36.5% で 1 位となり、両県では 3 人に 1 人以上がスイーツをこよなく愛しているということがわかります [図 19]。

エリア別に見ると、1 位は「中国・四国」(96.4%)、2 位は「九州・沖縄」(95.8%) となり、都道府県別の結果と同様、比較的暖かい地域でスイーツ好きの割合が高いことがうかがえます [図 20]。

## ◇ 47 都道府県中で最もおやつ回数の多いのは「奈良県」

1 日のうちにおやつを食べる平均回数は、「奈良県」(1.44 回) が最も多いことがわかりました。

「秋田県」(1.37 回) は「おやつ回数」は全国で 2 番目に多いことがわかりました。

3 位は「岐阜県」(1.34 回)、4 位には「福島県」「東京都」「京都府」が 1.32 回で同率ランクインしています[図 21]。

最もおやつ回数が少ないのは「おやつを食べない」という回答が多かった「岩手県」(1.06 回) でした。

「スーパー・コンビニの  
【図 18】 スイーツが好き\*  
都道府県別 1~9 位  
\*「とても好き」「好き」の合計

1位	愛媛県	99.5%
2位	広島県	98.5%
	和歌山県	97.5%
3位	香川県	97.5%
	大分県	97.5%
	福井県	97.0%
6位	山梨県	97.0%
	佐賀県	97.0%
	青森県	96.5%
9位	千葉県	96.5%
	沖縄県	96.5%

(n=9,391)

「スーパー・コンビニの  
【図 19】 スイーツがとても好き\*  
都道府県別 1~10 位

1位	神奈川県	36.5%
	沖縄県	36.5%
3位	島根県	36.0%
	埼玉県	35.0%
	千葉県	35.0%
4位	岐阜県	35.0%
	広島県	35.0%
	愛媛県	35.0%
9位	岡山県	34.5%
	秋田県	34.0%
10位	愛知県	34.0%
	和歌山県	34.0%

(n=9,391)

【図 20】 「スーパー・コンビニのスイーツが好き」 エリア別

1位	中国・四国	96.4%
2位	九州・沖縄	95.8%
3位	中部	95.3%
	近畿	95.3%
5位	関東	94.1%
6位	北海道	93.5%
7位	東北	93.1%

(n=9,391)

【図 21】 「1 日のうちにおやつを食べる平均回数」  
都道府県別 トップ 6

1位	奈良県	1.44回
2位	秋田県	1.37回
3位	岐阜県	1.34回
	福島県	1.32回
4位	東京都	1.32回
	京都府	1.32回

(n=9,391、5 回以上は 5 回として加重平均値を算出)

# 04 47 都道府県調査 ～スイーツ好きの都道府県～

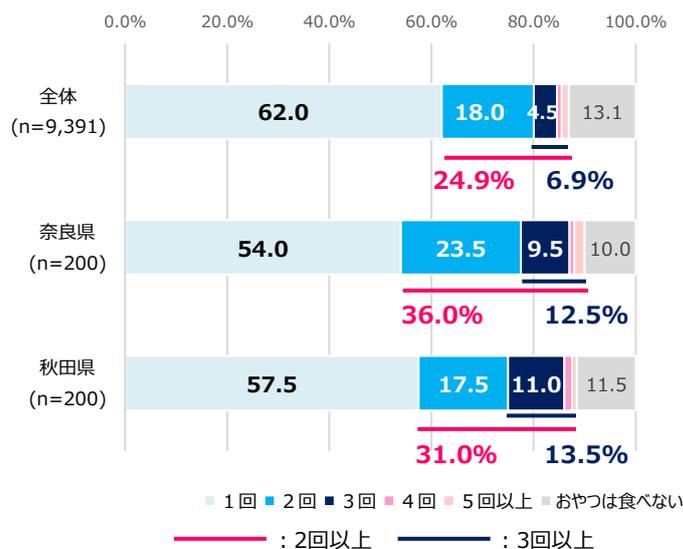
◇ 「おやつを 1 日に 2 回以上食べる」都道府県の 1 位は「奈良県」(36.0%)

◇ 「秋田県」ではおやつを 1 日 3 回以上食べる人が全国平均の約 2 倍 (13.5%、全国平均 6.9%)

おやつの回数別にさらに見ていくと、1 日のうちにおやつを食べる平均回数が最も多かった「奈良県」は、「1 日に 2 回以上おやつを食べる」人の割合も最も多い(36.0%)ことが分かりました。2 回以上おやつを食べる割合が高かったのは、2 位が「島根県」(32.5%)、3 位「岐阜県」(31.5%)、4 位「秋田県」(31.0%)となりました。5 位「青森県」(30.5%)でも 3 割を超えており、全体結果の 24.9%と比較しても、おやつを 1 日に 2 回以上食べる習慣が根付いている様子が分かりました [図 22、23]。

一方、「1 日に 3 回以上おやつを食べる」人の割合では「秋田県」(13.5%)が 1 位となりました。「1 日に 3 回以上おやつを食べる」と回答した人は全体では 6.9%であるところ、「秋田県」では 13.5%と約 2 倍。2 位は「奈良県」(12.5%)が入り、「おやつタイム」を愛する様子がうかがえます。「東京都」と「兵庫県」は 10.5%の同率で 3 位、5 位は「福島県」(10.0%)となり、1 日のうちに複数回のおやつ習慣を楽しむ都道府県であるといえそうです[図 22、24]。

【図 22】 「1 日のうちにおやつを食べる回数」全体、奈良県、秋田県



【図 23】 「1 日に 2 回以上おやつを食べる」都道府県別 トップ 5

全国平均 : 24.9%		
1位	奈良県	36.0%
2位	島根県	32.5%
3位	岐阜県	31.5%
4位	秋田県	31.0%
5位	青森県	30.5%

(n=9,391)

【図 24】 「1 日に 3 回以上おやつを食べる」都道府県別 トップ 5

全国平均 : 6.9%		
1位	秋田県	13.5%
2位	奈良県	12.5%
3位	東京都	10.5%
	兵庫県	10.5%
5位	福島県	10.0%

(n=9,391)

## ❖ よく買うスイーツの種類では、全ての都道府県でシュークリームがトップに

スーパー・コンビニで普段よく購入するスイーツについては、経年比較の人気ランキング[図 11]でも人気を集めた「シュークリーム」が、全ての都道府県で 1 位であることが分かりました。また、2 位は全ての都道府県で「プリン」でした。

3 位については、都道府県ごとで「エクレア」と「ロールケーキ」に分かれました。「ロールケーキ」の方が人気の地域が多い中、「エクレア」好きの割合が上回ったのは、東北では「山形県」、関東では「千葉県」「東京都」「神奈川県」、中部では「福井県」「静岡県」、近畿では「三重県」「和歌山県」、中国・四国では「岡山県」「広島県」「山口県」「愛媛県」「高知県」、九州・沖縄では「長崎県」「大分県」「宮崎県」の 16 都県となりました。特に「エクレア」好きが多かったのは「和歌山県」(「ロールケーキ」32.0%、「エクレア」42.5%、10.5 ポイント差)で、次いで「神奈川県」(「ロールケーキ」33.0%、「エクレア」40.5%、7.5 ポイント差)でした。首都圏の千葉・東京・神奈川では「エクレア」好きな人が多いようです。

全国で人気上位の 6 スイーツについて、購入率が高い 1～3 位の都道府県を見てみると、「シュークリーム」は「奈良県」(72.5%)、「和歌山県」(70.5%)、「新潟県」(68.5%)で特に人気があるようです。

「プリン」は、「岐阜県」と「佐賀県」が 51.5%で同率 1 位。「エクレア」は、前述のとおり「和歌山県」(42.5%)が 1 位でした。

「ロールケーキ」は「京都府」(40.0%)での人気が高く、「その他ケーキ」は「高知県」(31.5%)で最も購入されている割合が高い結果となりました。

生どら焼きなどの「和スイーツ」は、「石川県」(37.5%)が 1 位で、続いて「東京都」(35.5%)でも人気があることが分かりました[図 25]。

【図 25】 普段よく買うスーパー・コンビニのスイーツ 人気 6 スイーツの都道府県別ランキング 1～3 位

	シュークリーム		プリン		エクレア	
1位	奈良県	72.5%	(1位) 岐阜県	51.5%	和歌山県	42.5%
2位	和歌山県	70.5%	(1位) 佐賀県	51.5%	神奈川県	40.5%
3位	新潟県	68.5%	山形県	49.5%	千葉県	37.5%
					福井県	37.5%
					岡山県	37.5%
	ロールケーキ		その他ケーキ		和スイーツ	
1位	京都府	40.0%	高知県	31.5%	石川県	37.5%
2位	(2位) 北海道	39.0%	沖縄県	30.5%	東京都	35.5%
3位	(2位) 沖縄県	39.0%	広島県	29.0%	広島県	35.0%

(複数選択、n=9,391)

# 04 47 都道府県調査 ～甘さしっかり派と控えめ派～

## ❖ スイーツは「甘さしっかり」好きが全国では多数派

## ❖ 若い世代に多い「甘さしっかり派」と、50、60代で増える「甘さ控えめ派」

また、今回スイーツの「甘さ」の好みについても調査。スーパー・コンビニのスイーツの甘さの好みでは、全体では「甘さしっかり」が59.1%\*1、「甘さ控えめ」が40.9%\*2で、「甘さしっかり派」が約6割で多数派となりました。

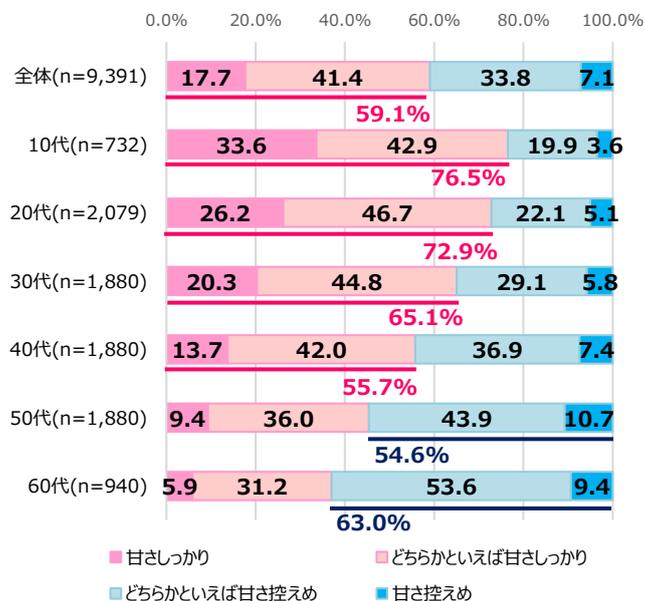
年代別に見ると、「10代」(76.5%)、「20代」(72.9%)、「30代」(65.1%)、「40代」(55.7%)は「甘さしっかり派」の方が多く、若い世代ほどその割合が高いことが分かります。

「甘さ控えめ」は「50代」(54.6%)、「60代」(63.0%)から支持を集め、年代が上がるにつれて「甘さ控えめ派」が増えるようです[図26]。

\*1 「甘さしっかり」「どちらかといえば甘さしっかり」の合計

\*2 「甘さ控えめ」「どちらかといえば甘さ控えめ」の合計

【図26】 スイーツの甘さ「しっかり派」or「控えめ派」年代別



## ❖ 「甘さしっかり派」No.1 は「静岡県」。「甘さ控えめ派」No.1 は「岩手県」

都道府県別に甘さの好みを見ると、「甘さしっかり」を最も好むのは、全体（59.1%）より5.4ポイント高い64.5%の「静岡県」でした。2位には「スイーツ好き」1位の「愛媛県」(63.5%)などがランクインしています[図27]。

最も「甘さ控えめ」を好むのは、「岩手県」(49.5%)で、全体（40.9%）より8.6ポイント高い結果となりました。半数には届きませんでしたが、「甘さしっかり派」と「甘さ控えめ派」が拮抗している県といえます。次いで2位は「富山県」(47.0%)、3位は「三重県」(46.5%)という結果になりました[図28]。

【図27】 「甘さしっかり派」都道府県別 1位～10位

1位	静岡県	64.5%
	神奈川県	63.5%
2位	福井県	63.5%
	愛媛県	63.5%
5位	千葉県	63.0%
	広島県	63.0%
	京都府	62.5%
7位	和歌山県	62.5%
	鹿児島県	62.5%
10位	宮崎県	62.4%

(n=9,391)

【図28】 「甘さ控えめ派」都道府県別 1位～9位

1位	岩手県	49.5%
2位	富山県	47.0%
3位	三重県	46.5%
	北海道	45.5%
4位	青森県	45.5%
	新潟県	45.5%
	長野県	45.5%
8位	佐賀県	45.0%
	山形県	44.5%
	栃木県	44.5%
9位	山口県	44.5%
	長崎県	44.5%

(n=9,391)

# 04 47 都道府県調査 ～甘さしっかり派と控えめ派～

## ◇ 近畿は「甘さしっかり派」、北海道・東北は「甘さ控えめ派」が多い

エリア別に甘さの好みを見ると、「近畿」(60.3%)が最も「甘さしっかり派」が多いことが分かりました。僅差で2位は「中国・四国」(60.2%)、3位は「関東」(60.1%)となりました。[図 29]。

「甘さ控えめ派」が最も多いエリアは「北海道」(45.5%)。2位は「東北」(43.5%)、で、寒冷地域では控えめな甘さが好まれる傾向にあるようです[図 30]。

【図 29】 「甘さしっかり派」 エリア別

1位	近畿	60.3%
2位	中国・四国	60.2%
3位	関東	60.1%

(n=9,391)

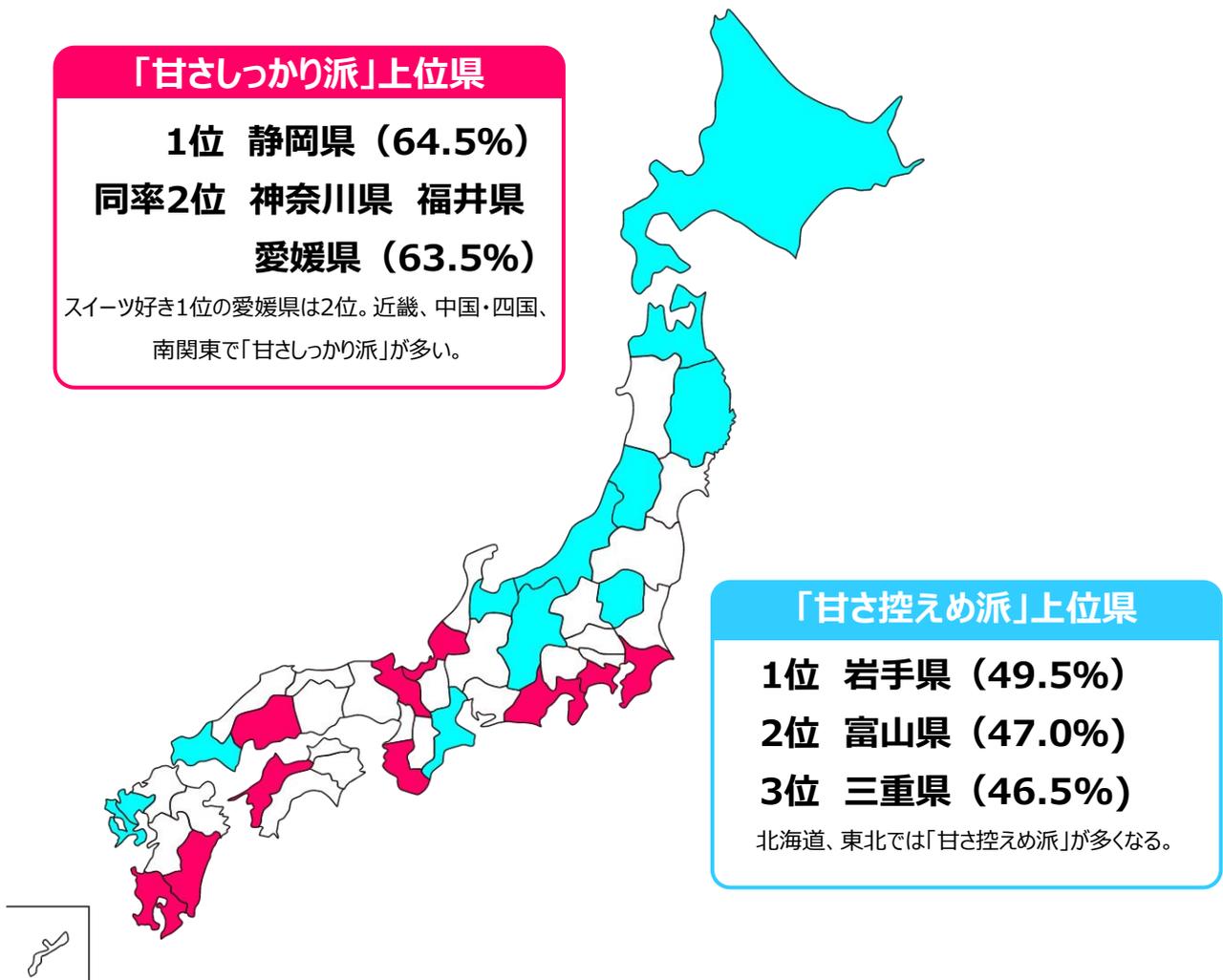
【図 30】 「甘さ控えめ派」 エリア別

1位	北海道	45.5%
2位	東北	43.5%
3位	中部	41.8%

(n=9,391)

## 「甘さしっかり派」「甘さ控えめ派」1位～10位の分布図

※甘さしっかり派と、甘さ控えめ派の上位10位までを色付け

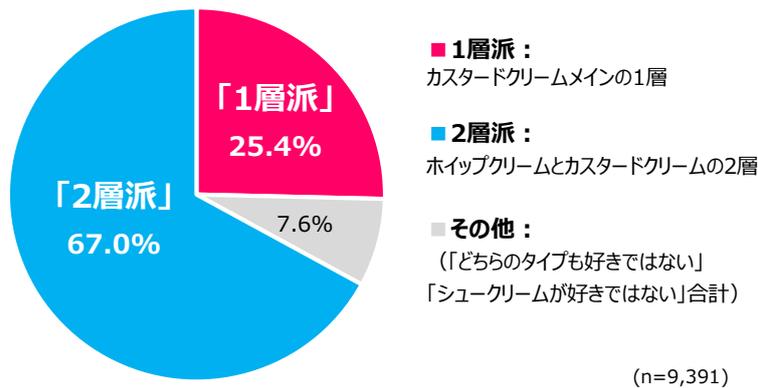


## ❖ 「シュークリーム」は、ホイップクリーム+カスタードクリームの「2層」が多数派

スーパー・コンビニのスイーツで、全ての都道府県で人気 1 位となった「シュークリーム」。主役となるクリームは、カスタードクリームがメインの「1層」と、ホイップクリームとカスタードクリームの「2層」の 2 種類に大きく分けられます。このクリームについて、「1層派」か「2層派」かを聞いたところ、全体では 67.0%と約 7 割が「2層派」であることが判明。「1層派」(25.4%)も 4 人に 1 人の割合となりました[図 31]。また、「1層派」を年代別\*1に見ると、若い世代の方がカスタードクリーム 1層を好む割合が高いことが分かりました。

\*1 「1層派」年代別の割合： 10代：32.2%、20代：30.3%、30代：25.5%、40代：22.0%、50代：20.4%、60代：25.9%

【図 31】 シュークリームの「クリーム」のお好み



都道府県別で「2層派」が多いのは、スイーツ好きが最も多い「愛媛県」(76.0%)が 1 位に。続いて 2 位「長野県」(75.0%)、3 位「滋賀県」(74.5%)でした [図 32]。

カスタードクリームメインの「1層派」が多いのは、「沖縄県」(37.5%)、「山口県」(34.5%)、「長崎県」(34.5%)で、暖かい地域で好まれているようです[図 33]。

【図 32】 シュークリームは「2層派」 都道府県別トップ 3

1位	愛媛県	76.0%
2位	長野県	75.0%
3位	滋賀県	74.5%

(n=9,391)

【図 33】 シュークリームは「1層派」 都道府県別トップ 3

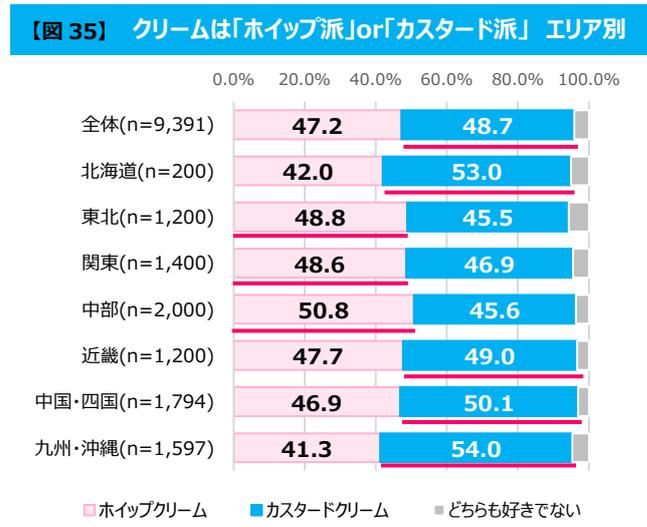
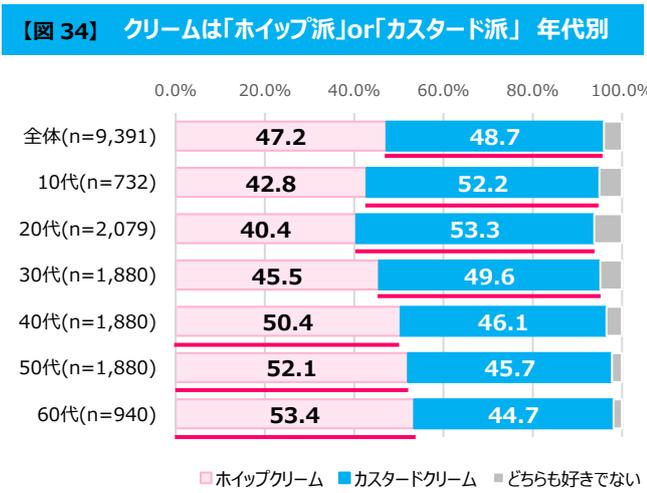
1位	沖縄県	37.5%
2位	山口県	34.5%
	長崎県	34.5%

(n=9,391)

# 04 47 都道府県調査 ～分かれるクリーム好み～

- ❖ スイーツ全般では「ホイップクリーム派」47.2%、「カスタードクリーム派」48.7%と拮抗
- ❖ ホイップ派が多い「中部」「東北」 カスタード派が多い「九州・沖縄」「中国・四国」

スーパー・コンビニスイーツ全般についてホイップクリームとカスタードクリームどちらの方が好きかを聞くと、「ホイップ派」が 47.2%、「カスタード派」が 48.7%と拮抗。年代別でも見てみると、「10代」(52.2%)、「20代」(53.3%)、「30代」(49.6%)の若い世代で「カスタード派」が多い一方、40代以上では逆転し、「40代」(50.4%)、「50代」(52.1%)、「60代」(53.4%)と、年代が上がるにつれて「ホイップ派」の割合が高まることが分かりました [図 34]。地域別に見てみると、「ホイップ派」が多いのは「中部」(50.8%)、「東北」(48.8%)、「関東」(48.6%)で、「カスタード派」が多いのは、「九州・沖縄」(54.0%)、「北海道」(53.0%)、「中国・四国」(50.1%)、「近畿」(49.0%)となりました [図 35]。



## ❖ 「ホイップクリーム」好き No.1 は「青森県」! 「カスタード」好き No.1 は「大分県」!

クリームの好みについて都道府県別ランキングのトップ 5 をみると、「ホイップクリーム」好きは「青森県」が 55.0%で 1 位に。2 位には「長野県」(54.5%)、3 位には同率で「岐阜県」「愛知県」「和歌山県」(53.5%) が入りました。東北地方、中部地方の県がランクインする結果になりました [図 36]。

「カスタードクリーム」好きは、1 位「大分県」(59.5%)、2 位「沖縄県」(58.5%)、3 位「兵庫県」(57.5%)、4 位「大阪府」(55.0%)、5 位「宮崎県」(54.8%)でした。九州・沖縄、近畿の府県がトップ 5 となりました。シュークリームの「1 層派」で 1 位だった「沖縄県」は、本ランキングでも 2 位となり、カスタード人気の高さがうかがえます [図 37]。

**【図 36】 スイーツのクリームは「ホイップ派」都道府県別トップ 5**

1位	青森県	55.0%
2位	長野県	54.5%
	岐阜県	53.5%
3位	愛知県	53.5%
	和歌山県	53.5%

(n=9,391)

**【図 37】 スイーツのクリームは「カスタード派」都道府県別トップ 5**

1位	大分県	59.5%
2位	沖縄県	58.5%
3位	兵庫県	57.5%
4位	大阪府	55.0%
5位	宮崎県	54.8%

(n=9,391)

## ❖ 全国のスイーツの人気フレーバーは、「バニラ」「チョコ」「ミルク」がトップ3

スーパー・コンビニのスイーツ全般について好きなフレーバーを尋ねたところ、「バニラ」(60.4%)、「チョコ」(51.4%)、「ミルク」(50.0%)が、4位以下に大きな差をつけて全国ではトップ3となりました。

4位の「苺」(33.3%)、5位の「チーズ」(30.2%)も3割以上の人が好きと回答し、人気がかがえます。

「バニラ」と7位「あんこ」、10位「栗」は、年代が上がるほど好きな人の割合が増え、50代、60代から特に人気を集めていることが分かりました\*1。

一方、「チョコ」と「苺」、6位「キャラメル」、8位「抹茶」は、特に10代の割合が平均よりも高いという傾向がありました\*2。

また、ランク外では19位「マンゴー」と20位「りんご」を好む人も10代の割合が他の世代に比べて高く、若い世代が好むフレーバーであるといえそうです\*3[図38]。

【図38】 好きなフレーバー 全国

1位	バニラ	60.4%
2位	チョコ	51.4%
3位	ミルク	50.0%
4位	苺	33.3%
5位	チーズ	30.2%
6位	キャラメル	29.5%
7位	あんこ	27.6%
8位	抹茶	26.2%
9位	メープル	24.0%
10位	栗	23.1%

(n=9,391)

\*1 「バニラ」: 10代: 52.9%、20代: 55.7%、30代: 59.0%、40代: 60.7%、50代: 64.8%、60代: 70.4%  
 「あんこ」: 10代: 19.8%、20代: 20.6%、30代: 26.4%、40代: 27.7%、50代: 34.3%、60代: 38.3%  
 「栗」: 10代: 17.9%、20代: 18.6%、30代: 21.7%、40代: 23.8%、50代: 27.6%、60代: 29.5%

\*2 「チョコ」: 10代: 58.1%、20代: 52.5%、30代: 54.3%、40代: 52.6%、50代: 47.8%、60代: 42.8%  
 「苺」: 10代: 39.6%、20代: 32.0%、30代: 31.2%、40代: 33.8%、50代: 34.7%、60代: 31.8%  
 「キャラメル」: 10代: 35.2%、20代: 28.0%、30代: 29.8%、40代: 29.2%、50代: 29.6%、60代: 27.8%  
 「抹茶」: 10代: 31.4%、20代: 29.0%、30代: 27.3%、40代: 24.6%、50代: 22.9%、60代: 24.0%

\*5 「マンゴー」: 10代: 18.2%、20代: 10.4%、30代: 12.3%、40代: 12.3%、50代: 13.6%、60代: 13.9%  
 「りんご」: 10代: 16.5%、20代: 10.4%、30代: 11.9%、40代: 11.0%、50代: 10.3%、60代: 12.1%

# 04 47 都道府県調査 ～好きなフレーバーで地域ごとの特徴が浮き彫りに～

- ❖ 人気の「バニラ」が一番好きなのは長崎県
- ❖ カスタードクリームに加えて濃厚な「チーズ」好きの多い沖縄県
- ❖ 京都府では「抹茶」以外にも、「桃」や「マンゴー」などフルーティーなフレーバーが人気
- ❖ 「和スイーツ」好きの石川県は「抹茶」好きが最多

全国で最も人気のフレーバーに選ばれた「バニラ」が好きな人が一番多いのは「長崎県」(70.5%)で、7割と高い支持を得ています。「チョコ」は「沖縄県」(61.5%)で人気が高く、「ミルク」は「東京都」(58.0%)で特に好まれているようです。

「沖縄県」がトップになったのは「チョコ」のほか、「苺」(41.0%)、「チーズ」(42.0%)でした。特に「チーズ」は2位「新潟県」(36.0%)との差が6.0ポイントで、1位・2位の差が最も開いていました。全体の30.2%と比べると11.8ポイントも高く、沖縄県では特に「チーズ」を好む人の割合が高いことが分かりました。

「桃」は、「京都府」での人気が高く全体の17.0%と比較して27.0%と、10ポイントも高い結果となりました。また、「バナナ」(21.0%)、「マンゴー」(20.0%)、「レモン」(15.0%)でも1位となっており、京都府ではフルーティーなフレーバーを好む人の割合が高いといえます。

「福井県」は、和菓子や水ようかんの人気もあってか「あんこ」でのランキングがトップ。また「メープル」(34.0%)も人気という結果になりました。自然な甘みを好む割合が高いようです。「千葉県」は「コーヒー」(30.5%)、「さくら」(13.5%)のランキングで首位となり、香りが特徴的なフレーバーを好む人が多いようです。

「紅茶」好きは、別荘地として有名な軽井沢のある「長野県」(26.0%)で多く、「抹茶」好きは、「和スイーツ好き」で1位となった「石川県」(34.0%)で多いなど、地域の特徴が感じられます。「抹茶」好きの都道府県では、名産地である「京都府」も32.0%で5位にランクインしています。「かぼちゃ」好きで1位となった「北海道」(24.0%)は、かぼちゃの収穫量が日本一の名産地であり、地元の味を愛する様子も伝わってきます[図39]。

\*1 かぼちゃの主な産地：2019年産の野菜生産出荷統計によると、北海道産が55%で最も多い。

(農林水産省「かぼちゃの国内生産量、おもな産地と種類をおしえてください」[https://www.maff.go.jp/j/heya/kodomo\\_sodan/0304/02.html](https://www.maff.go.jp/j/heya/kodomo_sodan/0304/02.html))

【図39】 スーパー・コンビニのスイーツの好きなフレーバー 各フレーバーの選択率 1～3位の都道府県

	バニラ	チョコ	ミルク	苺	チーズ	キャラメル	あんこ	抹茶
	全体結果 60.4%	全体結果 51.4%	全体結果 50.0%	全体結果 33.3%	全体結果 30.2%	全体結果 29.5%	全体結果 27.6%	全体結果 26.2%
1位	長崎県 70.5%	沖縄県 61.5%	東京都 58.0%	沖縄県 41.0%	沖縄県 42.0%	熊本県 36.0%	福井県 33.5%	石川県 34.0%
2位	(2位) 和歌山県 66.5%	京都府 56.5%	徳島県 57.2%	群馬県 39.0%	新潟県 36.0%	奈良県 35.0%	島根県 32.5%	(2位) 長野県 33.5%
3位	(2位) 沖縄県 66.5%	佐賀県 56.0%	宮城県 55.5%	岡山県 38.0%	北海道 35.0%	京都府 34.5%	福島県 32.0%	(2位) 広島県 33.5%
			広島県 55.5%			高知県 34.5%	東京都 32.0%	沖縄県 32.0%

	メープル	栗	コーヒー	さつまいも	たまご	桃	紅茶	かぼちゃ
	全体結果 24.0%	全体結果 23.1%	全体結果 22.6%	全体結果 22.0%	全体結果 19.2%	全体結果 17.0%	全体結果 16.0%	全体結果 15.5%
1位	福井県 34.0%	埼玉県 28.0%	千葉県 30.5%	島根県 27.0%	広島県 26.5%	京都府 27.0%	長野県 26.0%	(1位) 北海道 24.0%
2位	広島県 29.5%	高知県 27.5%	沖縄県 28.5%	(2位) 愛知県 26.5%	佐賀県 25.0%	愛知県 24.5%	千葉県 23.0%	(1位) 青森県 24.0%
3位	山形県 28.5%	三重県 27.0%	鹿児島県 28.0%	(2位) 佐賀県 26.5%	静岡県 24.5%	宮城県 21.5%	京都府 22.5%	東京都 21.5%
	沖縄県 28.5%	島根県 27.0%						

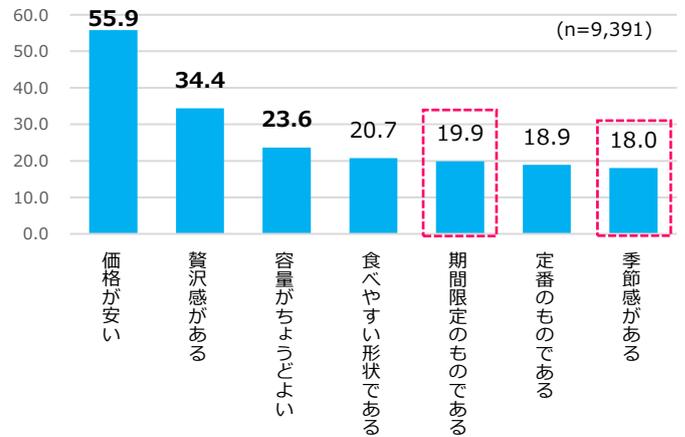
	ナッツ類	バナナ	マンゴー	りんご	メロン	レモン	さくら
	全体結果 15.3%	全体結果 14.9%	全体結果 12.8%	全体結果 11.5%	全体結果 10.9%	全体結果 9.5%	全体結果 8.4%
1位	(1位) 東京都 20.5%	(1位) 東京都 21.0%	京都府 20.0%	北海道 18.0%	宮城県 16.0%	京都府 15.0%	千葉県 13.5%
2位	(1位) 長崎県 20.5%	(1位) 京都府 21.0%	(2位) 富山県 17.5%	京都府 17.5%	千葉県 14.5%	千葉県 13.5%	(2位) 京都府 13.0%
3位	青森県 20.0%	福井県 18.5%	(2位) 沖縄県 17.5%	埼玉県 15.0%	山口県 14.0%	新潟県 13.0%	(2位) 山口県 13.0%
	埼玉県 20.0%			兵庫県 15.0%		滋賀県 13.0%	
						高知県 13.0%	

(n=9,391)

## ◇ 「価格が安いこと」「贅沢感」が重視される、スーパー・コンビニのスイーツ

スーパー・コンビニのスイーツを選ぶ際の基準を聞いてみると、全体では「価格が安い」(55.9%)ことが最も重視されていることが分かりました。2位は「贅沢感がある」(34.4%)、3位は「容量がちょうどよい」(23.6%)がランクインしています。5位「期間限定のものである」(19.9%)や、7位「季節感がある」(18.0%)など、今しか食べられないものを選ぶことを重視する人と、6位「定番のものである」(18.9%)ことを重視する人はそれぞれ一定の割合でいるようです[図40]。

【図40】スーパー・コンビニのスイーツを選ぶ際に重視すること



## ◇ 贅沢感を大切にする「高知県」／定番の味を愛する「福井県」／季節感重視の「京都府」 健康志向の「東京都」／地元愛の高い「宮崎県」「沖縄県」などスイーツを選ぶ点での地域差

項目別に都道府県の1～3位をみると、「贅沢感がある」ことを最も重視するのは「高知県」(43.0%)で、スイーツに特別感やご褒美感を求める人が多いことがうかがえます。

「定番のものである」は「福井県」(29.5%)がトップとなり、定番商品の安定したおいしさを求める人が多いようです。

「見栄えがよい」ことを最も重視するのは「奈良県」(21.5%)、2位は「京都府」(21.0%)と隣県が並びました。「京都府」は「季節感がある」でも23.0%で1位となっており、「奈良県」「京都府」はスイーツに美しさや季節感など、味のみならず、五感で楽しむことも重視している様子がうかがえます。

「糖質もしくはカロリーが低い」ことは「東京都」(15.0%)で最も重視されており、健康志向の高さがうかがえます。2位には「スイーツ好き」が最も多い「愛媛県」(14.0%)がランクインしています。

「地域限定のもの」を重視する人は「宮崎県」(10.7%)、「沖縄県」(10.5%)で多く、地元愛の高さが感じられる結果となりました[図41]。

【図41】スーパー・コンビニのスイーツを選ぶ際に重視すること 各項目の選択率 1～3位の都道府県

	価格が安い	贅沢感がある	食べやすい形状である	定番のものである	季節感がある
全体結果	55.9%	34.4%	20.7%	18.9%	18.0%
1位	沖縄県 66.0%	高知県 43.0%	沖縄県 30.0%	福井県 29.5%	京都府 23.0%
2位	新潟県 63.0%	(2位) 岐阜県 39.5%	山口県 28.0%	(2位) 茨城県 25.0%	長野県 22.5%
3位	鹿児島県 62.0%	(2位) 山口県 39.5%	佐賀県 25.0%	(2位) 大阪府 25.0%	大分県 22.0%

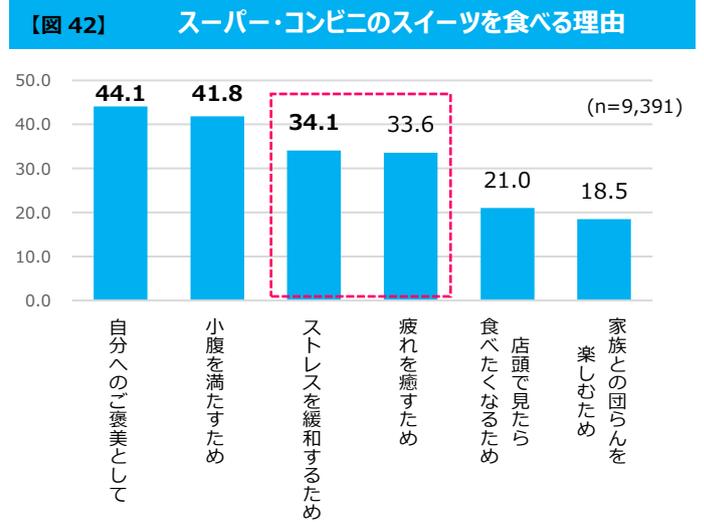
	見栄えがよい	容量が多い	糖質もしくはカロリーが低い	地域限定のもの
全体結果	16.0%	11.3%	9.9%	6.6%
1位	奈良県 21.5%	(1位) 秋田県 16.5%	東京都 15.0%	宮崎県 10.7%
2位	京都府 21.0%	(1位) 佐賀県 16.5%	愛媛県 14.0%	沖縄県 10.5%
3位	静岡県 20.5%	(1位) 沖縄県 16.5%	神奈川県 13.0%	秋田県 9.5%
	愛知県 20.5%		島根県 13.0%	
	広島県 20.5%			

(n=9,391)

## ❖ スイーツを食べる一番の理由は、「自分へのご褒美」

スーパー・コンビニのスイーツを食べる理由の全体での 1 位は、「自分へのご褒美として」(44.1%)となりました。3 位「ストレスを緩和するため」(34.1%)、4 位「疲れを癒やすため」(33.6%)も 3 割以上となり、スイーツが多くの現代人の心を癒やしている様子がうかがえます。

また 6 位「家族との団らんを楽しむため」(18.5%)からは、スイーツが大切な人との楽しい時間に一役買っている様子も見ることができました[図 42]。



## ❖ 「ご褒美として」「ストレス緩和のため」スイーツを食べる人が多い島根県

### 「疲れを癒やすため」であり、「家族との団らんを楽しむため」に食べる人が多い京都府

各項目の都道府県ごとの選択率を見て、全体平均と比較しポイントが高いところを見てみると、「自分へのご褒美として」は「島根県」(51.0%)が最も多く、「贅沢感」を重視している「高知県」(50.5%)も 2 位にランクインしています。「ストレスを緩和するため」でも「島根県」(45.0%)が全体に 10.9 ポイントの差をつけてトップとなり、島根県ではスイーツをご褒美やストレス緩和のために食べる人が多いことが分かりました。その一方、「大阪府」「兵庫県」「佐賀県」「長崎県」はいずれも 27.5%を下回り、トップとの差が大きく開いた結果となりました。

「小腹を満たすため」の 1 位は「福岡県」(50.0%)が多く、続いて「福井県」(48.0%)、「新潟県」(47.5%)と日本海に面した県が続く結果になりました。「店頭で見たら食べたくなるため」は、「福井県」(29.0%)、「東京都」(25.0%)、「静岡県」(24.5%)で多く、おいしいスイーツを見たら思わず食べたくなるという人が多いようです。

「疲れを癒やすため」は「京都府」(41.5%)で最も多く、また、「家族との団らんを楽しむため」でも「京都府」(24.0%)は「奈良県」と同率 1 位となり、家族との時間を大切にする県民性がうかがえる結果となりました[図 43]。

【図 43】 スーパー・コンビニのスイーツを食べる理由 各項目の選択率 1～3 位の都道府県

	自分へのご褒美として		小腹を満たすため		ストレスを緩和するため	
	全体結果	44.1%	全体結果	41.8%	全体結果	34.1%
1位	島根県	51.0%	福岡県	50.0%	島根県	45.0%
2位	高知県	50.5%	福井県	48.0%	広島県	41.5%
3位	山梨県	49.0%	新潟県	47.5%	長野県	41.0%
	愛媛県	49.0%				
	疲れを癒やすため		店頭で見たら食べたくなるため		家族との団らんを楽しむため	
	全体結果	33.6%	全体結果	21.0%	全体結果	18.5%
1位	京都府	41.5%	福井県	29.0%	(1位) 京都府	24.0%
2位	長野県	40.5%	東京都	25.0%	(1位) 奈良県	24.0%
3位	山形県	40.0%	静岡県	24.5%	佐賀県	23.0%

(n=9,391)